

2023

発行日 毎月1日 通算発行 441号

1



# 協会報

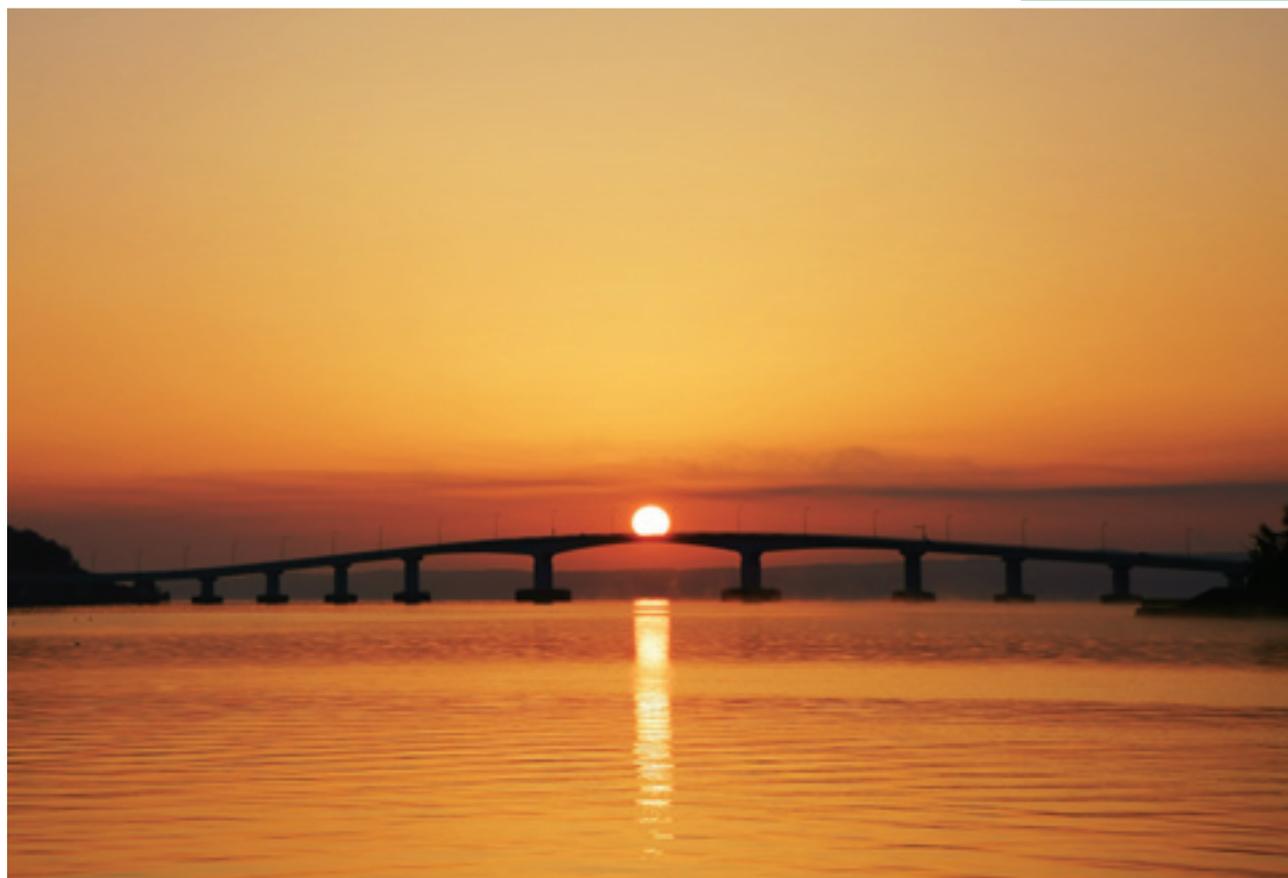
新春を迎えて『令和5年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保



新春ご挨拶

卯年は語る



能登島大橋からの日の出<七尾市>

写真撮影/佐原まゆみ

能登島と七尾市石崎町を結ぶ能登島大橋の全長は1,050mで、石川県内最長を誇る。海面からの高さは最も高いところで24.24mあり、中央が高くなった形はかもめが大空に翼を広げた姿を表している。1982(昭和57)年の開通以降、能登島には水族館やガラス美術館、ゴルフ場などが整備され、人気の観光・行楽エリアとなっている。橋の真上に昇る朝日が望めるのは毎年春と秋の2回で、和倉温泉から鑑賞できる。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



能登島大橋からの日の出  
<七尾市>

# CONTENTS 1

1	新春を迎えて 『令和5年新年あいさつ』 (一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保	2
2	新春ご挨拶 石川県知事 馳 浩 一般社団法人全国建設業協会会長 奥村太加典 厚生労働省石川労働局長 長嶋政弘 国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 桑島正樹	3 4 5 6
3	卯年は語る 中市勝也、西 正次、表 守活、堀田建悟、中市隆幸、高田修平	7
4	今月のトピックス 馳知事を囲む懇談会の開催 県選出国會議員に対する要望活動	10 11
5	令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.1 株式会社川田組 令和4年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.2 ピーエス三菱・宮下建設 特定建設工事共同企業体	12 12 14
6	雇用改善コーナー 意見交換会の開催 (県立羽咋工業高校) 意見交換会の開催 (金沢市立工業高校) 現場見学会の開催 (金沢市立工業高校) 企業ガイダンスの開催 (県立小松工業高校)	16 16 17 17
7	地区協会コーナー 元JRA調教師が能登半島の最先端で取り組む 奥能登・馬プロジェクト (一社)珠洲建設業協会	18
8	今月の「輝き!」さん No.94 真柄建設株式会社 北野将之さん	19
9	協会だより (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催 委員会の開催 土木委員会 施工対策部会 工事現地検討会班長会議 (後期) の開催 建築委員会 全体会議の開催 加賀地区、能登地区合同安全パトロールの実施 建設青年委員会 全国建設青年会議第27回全国大会への参加	20 20 20 20 21 21 21 21
10	石川県土木施工管理技士会だより JCMセミナー (DVD講習会) の開催 第3回役員会の開催	22 22
11	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催 令和4年度「私たちの主張」応募作品の紹介 「心の変化」 株式会社金沢舗道 池田龍星 「建設産業を通じて感じた自身の成長」 兼六建設株式会社 山本夏基	23 24
12	業界時報 労働災害発生状況 令和4年度 建設工事受注高調 (元請)	25 25
13	会員の異動 新社長紹介	26 26
14	県協会からのお知らせ	26
15	地区協会からのお知らせ	27

## 新春を迎えて

### 『令和5年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保



令和5年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より国、県などの行政機関の方々、建設業界関係の方々には建設産業の振興にご理解とご協力を頂き、また当協会の活動に対し格別のご配慮を賜り心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大から約3年が経過し、長期化によって景気が減速している中、ウクライナ危機や円安により経済の先行きが不透明な状況となっています。民間建設投資が冷え込んでおり建設資材や原材料価格が高騰、品薄の影響等により地域建設業にも深刻な影響が出ています。

今こそ、景気浮揚を図り経済を活性化するためにも、国土強靱化対策を始めインフラ長寿命化対策など公共投資による内需拡大と雇用確保が期待されています。加えて、近年全国で記録的な自然災害が多発、激甚化しており、県内でも6月の珠洲地震、8月には南加賀地域で洪水被害が発生するなど、災害時の緊急対応の充実・強化が求められています。更には、高度経済成長期に造られた道路や橋梁等をメンテナンスする唯一の担い手として、地域建設産業の果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。

今、地元建設業界として、十分な施工余力を持ちながら国土強靱化対策など県民の安全・安心の確保に向けてインフラ整備に全力を挙げて対応しています。

このような中、「骨太の方針2022」には、防災・減災、国土強靱化対策として必要・十分な予算を確保し、「5か年加速化対策」等を推進し、引き続き、災害に屈しない国土づくりを進めるとされました。また、5か年加速化対策後も、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進める重要性等を勘案し、次期「国土強靱化基本計画」に反映するとなっています。i-Constructionの推進など、インフラ分野のDXを加速化して生産性を高めるとともに、中長期的見通しの下、安定的・持続的な公共投資を推進しつつ、戦略的・計画的な取り組みを進めるなど、必要な事業量を確保して社会資本整備を着実に進めていくことが明記をされています。

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などインフラ整備の着実な実施に向けて、今年度の補正予算と来年度当初予算が一体的に編成されて切れ目のない対策が進められることで、強靱な県土づくりが進み地域経済の活性化に繋がることを期待しています。

令和6年4月から、建設業にも時間外労働の上限規制が適用されます。建設業が、新3K（給与、休暇、希望）に「かっこいい」を加えた新4K産業になれるよう、県協会では、担い手確保・育成に向けて、働き方改革と生産性向上を両輪として推し進めています。

休日が確保できるよう、地方自治体の首長に対して、直接、週休2日工事の拡大を働きかけるなど就労環境の改善に加えて、ICTの導入・推進など積極的にインフラDXにも取り組み、若者から選択される職場づくりを目指しています。女性部会「百万石小町『結』」の活動や建設現場で生き生きと働く姿などを写真で切り撮った建設フォトコンテストの開催なども通じて広報力の強化を図ってまいります。

引き続き、地域建設業が「地域の守り手」としての社会的使命を果たしていくために健全で安定した経営ができるよう、持続的・安定的な予算の確保と適正な利益が確保できる入札・契約制度の更なる改善を求めてまいります。

国土交通省はじめ発注機関の皆様方より一層の御指導と、全建・各都道府県協会のご支援をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新春ご挨拶



### 『幸福度日本一の石川県の実現に向けて』

石川県知事 馳 浩

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、能登地方における一連の地震活動や8月の豪雨、ウクライナなどの国際情勢を背景とした原油・原材料価格の高騰など、様々な課題に直面し、県として県民の命と生活を守るため、最善を尽くしてまいりました。

本年も引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の正常化の両立を図っていくとともに、国や市町、関係機関と協力しながら、災害からの一日も早い復旧に向けて全力で取り組むほか、資金繰り支援など物価高騰の影響を受ける事業者をサポートするなど、あらゆる対策を講じてまいります。

さらに、デジタル化やカーボンニュートラルへの対応など本県の将来の飛躍・発展に向けた取り組みや、誰一人取り残さない社会づくりの推進を通じて、県民一人ひとりが豊かさを実感できる「幸福度日本一の石川県」の実現を目指してまいります。

今後10年の石川県の進むべき方向性を示す羅針盤となる「石川県成長戦略（仮称）」の策定については、今後とも議論を深めながら、本年秋頃の策定を目指して作業を進めてまいります。

また、本県では、今年、「G7富山・金沢教育大臣会合」や「いしかわ百万石文化祭2023」の開催、さらに北陸新幹線の県内全線開業まで1年を切るなど、本県の魅力を国内外に発信する絶好の機会が到来します。本県の魅力に一層磨きをかけるとともに、交流人口の拡大により一層取り組んでまいります。

北陸新幹線金沢・敦賀間については、昨年、小松駅、加賀温泉駅の駅舎建築工事が完了し、レールの敷設工事も進められるなど、開業まであとわずかということが実感できるようになってきました。観光誘客では「新幹線県内全線開業PR戦略実行プラン」を年度内に策定し、北陸三県連携による誘客強化や文化観光の推進など、開業効果の最大化に向けた取り組みを強力に推進してまいります。

道路網については、幹線道路ネットワークの整備をさらに進めてまいります。

金沢港については、貨物、クルーズ、賑わいの機能を最大限発揮させ、日本海側の拠点港として更なる飛躍を期してまいります。

金沢城公園は、金沢城復元の総仕上げともいえる二の丸御殿の復元について、令和6年度の工事着手を目指し、引き続き、取り組みを進めてまいります。

安全・安心の確保については、治水対策などの防災・減災対策や、防災士の育成、消防学校の機能強化といった地域防災力の向上などに、しっかりと取り組んでまいります。

産業振興については、中小企業庁等との連携協定に基づく伴走支援体制のもと、原材料価格やエネルギー価格の高騰などの影響を受け厳しい状況にある事業者へ寄り添った支援を行ってまいります。

農林水産業については、農林水産物のブランド化や、他産業のノウハウを活用した生産の効率化により付加価値や収益性の向上を図ってまいります。

教育については、児童生徒一人ひとりの個性や適正に応じたきめ細かな教育の充実を図り、ふるさと石川に誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成を図ってまいります。

新年を迎え、旧年にも増して県政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



## 『令和5年 年頭所感』

一般社団法人全国建設業協会会長 奥村 太加典

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、感染拡大防止を図りながら行動制限を緩和するなど、社会経済活動の正常化に向けた取組が進んだことにより景気の持ち直しが期待されましたが、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安等が物価高をもたらし、建設業においても資機材の価格高騰や品薄などの影響を大きく受ける1年となりました。

また、気候変動の影響により近年頻発化、激甚化している豪雨や台風等の災害が、昨年も全国各地で発生し、橋や道路の崩壊などの甚大な被害をもたらしました。南海トラフ地震や首都直下地震等の巨大地震が近い将来発生することも想定されており、事前防災の重要性がより一層増しています。

このような状況の中、地域建設業は、災害時の対応など人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割と、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの中心的役割を果たしていかななくてはなりません。そして、これらの社会的使命を担う建設企業は、健全でサステナブルな経営を続ける必要があり、そのためには、安定的・持続的な事業量を確保できるよう、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の確実な執行を含めた社会資本整備の着実な推進を、引き続き政府や関係機関へ広く訴えていかななくてはならないと考えております。

昨年一部の報道で、公共事業予算の翌年度への繰越について、建設業界の引き受け能力を超えた予算を確保していることが要因であるとの誤った指摘がありましたが、これは本来当初予算で計上すべき国土強靱化予算が補正予算で計上されたこと等によるものであり、建設業界の施工余力に全く問題がないとの姿勢を引き続き示していくことも必要です。

さらには、将来の担い手確保のため、建設業で働く人々や建設業を目指す若者が、夢と誇りをもって活躍できる希望に満ちた産業となるよう、新3K（「給与」、「休暇」、「希望」）に「かつこいい」を加えた新4Kの実現に向け、働き方改革の推進や生産性の向上等を早急に進めることも重要です。

全建としましては、2024年4月の時間外労働の罰則付き上限規制の適用を見据えて週休2日と時間外労働の上限を年360時間以内とすることを目標としている「2+360（ツープラスサンロクマル）運動」などを通じた労働条件の改善、女性の更なる活躍に向けた職場環境の整備、ICTの活用やDXの普及促進による生産性向上、地域建設業が活躍する姿を広く社会に周知するための広報活動の強化等に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



## 『年頭のご挨拶』

厚生労働省石川労働局長 長嶋 政弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

石川県建設業協会の皆様には、日ごろから、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、石川県内の雇用情勢については、物価上昇等が雇用に与える影響に注意を要する状態にあるものの、製造業を中心に多くの産業で求人が堅調に推移しているところです。

このような状況にあって、石川労働局では、本年4月から施行される、中小企業に対する月60時間を超える法定時間外労働に対する割増賃金率の引上げについて円滑な施行を期すことをはじめとし、長時間労働の抑制や過重労働による健康障害の防止に向けた取組を推進するとともに、墜落、転落災害や腰痛災害などの行動災害防止対策、高齢労働者の安全と健康確保、新たな化学物質管理の周知徹底などに対してより一層の取組を進めることにより、「労働者が安全で健康に働くことができる環境の整備」を図ってまいります。

働き方改革の推進については、令和6年4月1日から建設業においても時間外・休日労働の上限規制が適用されます。労働局では、石川働き方改革推進支援センターや各助成金の利用勧奨と丁寧な相談対応を行い、時間外労働等の上限規制、年次有給休暇の取得促進、同一労働同一賃金への対応等、中小企業等の取組の支援に努めてまいります。また、労働基準監督署においても、労働時間相談・支援コーナーを設け、窓口相談のほか個別訪問でもご相談に応じております。

また、ハローワークの窓口においては、利用者のニーズに応じた支援サービスの充実、オンラインによる利便性の向上などに積極的に取り組むとともに、若者、就職氷河期世代、高齢者、障害者、子育て中の女性など、多様な人材の活躍が促進され、人手不足分野での人材確保が推進されるよう、自治体とも連携して、マッチング機能の強化に取り組んでいます。

育児・介護と仕事の両立支援については、昨年4月から改正育児・介護休業法が段階的に施行されていますが、本年5月からは、従業員数が1,000人を超える企業に対し、育児休業取得状況の公表が義務付けられますので、この周知と適正な履行を図ってまいります。

石川労働局では、今後も、関係機関・団体とも連携を密にし、労使・県民の皆様の期待に応えてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。



## 『年頭のご挨拶』

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 桑島正樹

あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

北陸地方整備局では、地域が持つ資源を活かし、新たな交流機会の拡大により魅力ある地域づくりに取り組んでおります。また、その個性ある地域が互いに連携することを支援しています。

石川県は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の伝統・文化とともに、個性豊かな地域を形成し発展してきました。私は、この魅力ある地域をさらに充実させて、住む人々の満足度を高め、優れた点を国内外に発信することによってさらに多くの人々を惹きつけることができると考えます。新型コロナウイルスにより経済活動は厳しい状況にありましたが、現在はウィズコロナの下、サービス消費を中心に回復の動きがみられ、今後一層社会経済活動の回復が図られていくものと信じております。そのためにも金沢河川国道事務所として、地域の発展に尽力していきたいと思います。

治水事業では、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、砂防事業や海岸事業なども含む河川の流域のあらゆる関係者が協力して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換し集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、地域の特性に応じた対策をハード・ソフト一体で多層的に進めることとしています。

令和4年8月豪雨において甚大な被害が発生した梯川水系では再度災害防止のための治水対策として「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」を令和4年11月にとりまとめました。今後国、県、市等が連携して流域治水対策を進めて参ります。

道路事業では、北陸地方整備局において2021年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定しました。災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を進め、防災・減災、国土強靱化に向けた県内の道路インフラの整備を着実に進めて参りたいと思います。

また、令和3年に大雪時の道路交通確保に対する考え方が、「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」に転換しました。

今冬も、関係機関と連携強化を図り、道路利用者へ適切に情報提供を行い、道路交通確保に努めます。

国土交通省の治水事業と道路事業を担当する石川県内で唯一の総合直轄事務所として、地域の安全・安心の確保や地域の活力のために尽力してまいります。本年も微力ながら石川県の発展に寄与できるよう努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 卯年は語る



### 中市勝也 (昭和26年11月9日生)

株式会社丸中組 代表取締役社長

あけましておめでとうございます。

本年卯年をネットで調べると、「飛躍」や「向上」の年にあたるそうです。

新型コロナの長引く悪影響から跳びだし、感染状況の好転や経済活動の順調な回復、また、ウクライナとロシアの争いや世界の国々の戦争懸念から解放され、さらに、地球温暖化の改善など、様々な事柄が再び跳びはね躍動する。

我々建設業界も、地域の守り手として活躍し、地域の方々から感謝され、大切に思われる。

こんな初夢を見たいと願うのは私一人ではないと思います。

夢の実現が早く来ることを願って地道な努力の積み重ねを、皆さんと一緒に、「亀」のように着実に歩む一年になるよう祈念したい。



### 西 正次 (昭和26年11月27日生)

株式会社丸西組 代表取締役会長

新年あけましておめでとうございます。

12年前に60歳の年男としてこの企画に寄稿させていただき、それからの12年間、私にとって大きな節目の時期となりました。

4年前に弊社が創立70周年を迎え、その節目に長男へ社長のバトンを渡すこととなりました。創業者の父から2代目として社長職を引き継ぎ、平成の時代の約30年間を勤めあげ、令和の時代を長男に託すことができたのは非常に喜ばしいことです。

また、6年前には小松商工会議所会頭という大役をお引き受けし、当初は重責に戸惑いを感じたものですが、

以降多くの方々の協力をいただきつつ今日に至っております。他業種の方々と関わる機会も増えたので、建設業従事者としてインフラをいかに有効に活用できているか、また地域発展のために役立っているか、常にアンテナを張りながら公職に携わり、ストック効果を発揮し未来に反映させていくことが私の使命と捉え、この1年間邁進していく所存です。



木場潟里山交流ハウスの現場にて若手社員と

## 表 守活 (昭和38年1月15日生)

株式会社表組 代表取締役

あけましておめでとうございます。

とりあえず年男という事で何を書こうかなど考えていて目に留まったのがこの画像の額です。これは32年前に弊社の社屋が出来上がった折に父の友人の台湾の方から頂きました。額の文字は「天地以順動」読み方は右からで、テンチハ、ジュンヲモツテ、ウゴク大意は、世の中は道理に従って動く、とあります。天地は今の世の中の動き、或いはそこにいるお客さんの事情かも



社屋竣工祝い額

もしれないし、今の我々かもしれないと考えて、それに出来るだけ寄り添えるように動いてみるという事でしょうか。これまでそれが出来ていたかどうかはわかりませんが今になって何となく、そうかなと実感しつつある今日この頃です。

-PS-

因みにこれは私の部屋です。この額の左横には父と祖父の遺影があっってじっと見られている感じに還暦になってやっと少し慣れました。

## 堀田建悟 (昭和50年1月10日生)

株式会社堀田建設 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。今ではコロナと共存する新しい生活スタイルが定着し、私達の働き方はコロナ前とは大きく変わりました。画期的な変化ではありますが、対面コミュニケーションの機会が減少したことによる人間関係の希薄化について、私自身考えさせられておりました。

そんな中で、2022サッカーワールドカップを観戦し、森保監督の選手との良好な関係を保つためのコミュニケーション能力には大変感銘を受け、我々の業界の経営陣と社員にも通じるものがあるのではと感じました。当社も時代の変化に合わせた働き方改革に取り組むとともに、社員との対面コミュニケーションも大切に、働きやすい魅力ある職場を目指していきたいと思えます。

私は、今年で4回目の年男です。周りの皆様のおかげ、ありがとうの気持ちを忘れずに、これからも決して慢心することなく精進いたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 中市隆幸（昭和50年6月16日生）

株式会社丸中組 代表取締役専務

新年あけましておめでとうございます。12年前の卯年は、東日本大震災の年でした。それから12年もの間、全国各地で様々な災害が発生しました。昨年も珠洲の地震、小松の豪雨災害と、県内でも大きな災害が発生したことは記憶に新しいことと思います。

新年を契機に、コロナ禍も災害もそろそろ終息してほしいという想いは皆様も同じことと思います。そして、卯年の今年は、心機一転、「跳ねる」年にしたいと思います。

これまで控えてきた旅行や、飲食も少しずつ緩和されてきていますので、「旅先で見聞を広め、現地の美味しいものを頂く」という機会を作っていく一年にしたいと思います。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を、そして、今年が何より良い一年となりますようご祈念申し上げます。



後列右から2番目が私

## 高田修平（昭和62年2月11日生）

株式会社高田組 取締役

あけましておめでとうございます。

大学を出て新入社員で大手の舗装会社に入社して以来、東京や千葉の営業所で働いてきましたが、30歳を機に実家の会社に戻ってまいりました。年男ということは、それから6年経ったことになります。この6年間は、職場環境や仕事内容も変わりましたが、結婚もしたことで家庭環境も大きく変わりました。地元に戻ってきたことで、協会活動や各種諸団体での活動などもあって交友関係も変わり、思い返せば様々なことが大きく変化してきたと思っております。なかなか変わらないものと言えば、ゴルフのスコアぐらいであります。



今年は干支である、ウサギのように仕事もゴルフのスコアも跳躍の年となるように、頑張ってみます。仕事もゴルフも協会活動もまだまだ未熟者でございますので、本年もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 今月のトピックス

### 馳知事を囲む懇談会の開催

開催日時 令和4年12月20日(火) 15:30~17:00  
 開催場所 ホテル日航金沢  
 出席者 石川県 馳 浩知事、鈴木裕司土木部長、口田光也技監  
 桜井 亘参事、熊田康也土木部次長、越田修孝土木部監理課長  
 協会 正副会長、県・地区協会役員 計58名

#### 概要

冒頭、平櫻 保会長が「9月補正に引き続き12月補正でも公共事業に大きな予算を組んでいただき感謝申し上げます。業界では、労働時間の上限規制の適用を控えている。県発注工事においては、「いしかわ土日おやすみモデル工事」を実施していただいているが民間工事ではなかなか難しい。また、依然として資機材の高騰にも苦慮しており、こうした現状にご理解をお願いしたい。」と挨拶。続いて馳知事が「建設業協会の皆様には、6月の奥能登地震や8月の加賀地方を中心とした豪雨災害に際し、ボランティア活動を始め、その後の復旧工事等に尽力いただき感謝申し上げます。知事としてこれまで以上に皆さんと足並みをそろえ、前知事が取り組んできたことを引き継いでいきたい。建設業界では、資機材の高騰や後継者の確保・育成といった課題を抱えているが、若者の確保と定着化を図るためにデジタル化は不可欠であり、県としてもICTに関する研修等にしっかり対応したい。」と挨拶を行った。



馳 浩知事



平櫻 保会長



懇談会会場

要望懇談では、協会側を代表し山岸 勇専務理事が要望書に基づき、公共事業予算の継続的・安定的な確保、地元建設企業の受注機会の確保など7項目について要望を行ったほか、各地区の協会長が地域の重点的な要望事項について説明を行い、知事及び土木部幹部がこれに答える形で進められた。要望に対し県側から前向きな発言があり、詳細な回答は後日文書でいただくこととした。鶴山庄市副会長の挨拶で閉会した。

#### 〈石川県建設業協会の要望事項〉

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保
2. 地元建設企業の受注機会の確保
3. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
  - (1) 予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更
  - (2) 発注・施工時期の平準化と適切な工期設定
  - (3) 最低制限価格の更なる引き上げと上限撤廃
  - (4) 書類の簡素化・合理化と業務の効率化
  - (5) 資材価格の急激な変動に対する適時・適切な対応
4. 担い手確保のための環境整備
  - (1) 週休2日制推進に向けた環境整備
  - (2) 奨学金返還に係る支援制度の拡充

- (3) 防災士資格を有する職員が在職する企業の適正な評価
5. 安心して災害活動を行うための災害協定の見直し
6. ICT活用工事を推進するための支援・充実
7. 持続可能な除雪体制の確保

#### 〈地区協会の要望事項〉

##### 【珠洲建設業協会】

- ・地域振興と安全・安心して暮らしを支える道路整備の促進について
- ・河川改修の整備促進について
- ・地震に対する防災施設について

**【鳳輪建設業協会】**

- ・地域振興と暮らしを支える広域交流幹線軸道路網の整備促進について
- ・砂防・地すべり・急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について
- ・二級河川の適正な整備と維持管理について
- ・港湾・漁港の整備促進について
- ・越波対策並びに海岸老朽化対策について

**【七尾鹿島建設業協会】**

- ・道路整備の促進について
- ・歴史的史跡を回遊する「歴史の道整備」について
- ・七尾港の整備促進について
- ・河川改修事業の整備促進と砂防事業の継続化について

**【羽咋郡市建設業協会】**

- ・災害時における緊急輸送道路として、また、安定した物流の確保を可能とするための道路網の強化について
- ・隣県とのアクセス性を確保し交流人口拡大と地域活性化を支援する県際道路の整備推進について
- ・防災・減災対策を充実・強化し、安全・安心な暮らしを支える治水対策の推進について
- ・地域活性化につながる海岸保全事業の推進について

**【河北郡市土建協同組合】**

- ・河北郡市内二級河川の土砂除去工事等の推進について
- ・河北郡市内海岸侵食対策の促進について
- ・河北潟周辺農地防災事業に係る地元企業受注機会確保への支援について
- ・河北郡市内県立普通高校への実業育成クラス創設について

**【白山野々市建設業協会】**

- ・地域振興と暮らしを支える社会資本整備の促進について
- ・安全・安心の確保に向けた防災基盤の充実について

**【小松能美建設業協会】**

- ・地域振興と暮らしを支える道路の整備促進について
- ・安全・安心の確保に向けた道路・河川の整備促進について

**【加賀建設業協会】**

- ・公共事業計画の策定と着実な実行について

**【金沢建設業協会】**

- ・公共事業予算の確保による社会資本整備の推進
- ・働き方改革及び人材の確保・育成への支援
- ・生産性向上への取り組み
- ・地域建設企業の受注機会の確保
- ・建設発生土の再利用の促進による循環型社会の形成

## 県選出国會議員に対する要望活動

(一社)石川県建設業協会(会長 平櫻 保)は、12月15日(木)、東京で石川県選出の自民党国會議員に対し、公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分等4項目を要望した。

平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事、川西豊博事務局長の6名が、岡田直樹内閣府特命担当大臣、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、小森卓郎衆議院議員、宮本周司参議院議員と面会し要望書を手渡した。特に、公共事業予算の継続的・安定的確保と地方への重点的な配分を要望するとともに、防災・減災、国土強靱化対策が着実に推し進められるよう求めた。岡田大臣はじめ国會議員から「国土強靱化対策は国の重大な責務であり、しっかりと取り組んでいかなければならない」、「地方創生・安全安心な県土づくりに向け来年度当初予算で必要な予算額が確保できるよう国会で取り組んでいく」との力強いお言葉を頂いた。

**【要望事項】**

1. 公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分
2. 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
3. 地元建設業者の受注機会の確保
4. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施



## 令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.1

施工企業名：株式会社川田組

■工事名 七尾港 ふ頭用地整備（大田西）工事  
（その1）

■工事分野 港湾漁港工事

■施工場所 七尾市大田町 地先

### ■工事概要

施工延長 L=80.3m

載荷盛土工 V=11,100m<sup>3</sup>

■工期 令和3年7月6日～令和4年2月28日

### ■推薦理由

本工事は、国が整備した七尾港（大田地区）岸壁（-13m）の背後に陸上荷捌場及び野積場等のふ頭用地を整備するものである。

土質改良にあたって、現場内に敷鉄板を敷き並べて改良ヤードを構築し、過掘りによる母材の土砂以外の土砂混入防止に努めたほか、盛土箇所が軟弱地盤のため、盛土厚・沈下量の管理を行いながら施工を進めた。

また、施工にあたってICT建設機械を採用し、施工管理の効率化及び品質の向上を図ると共に、事故なく工事を完成させた。



着工前



完成



平面図



改良ヤード写真



土質改良1（土砂計量）



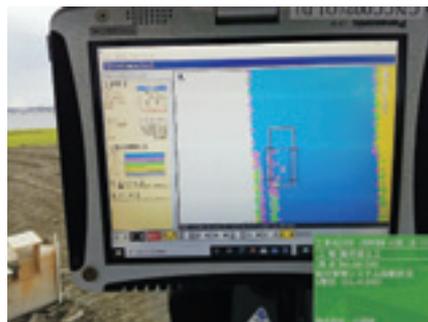
土質改良2（土砂計量完了）



土質改良3（攪拌状況）



載荷盛土（ICT建機）整形状況



載荷盛土（ICT建機）転圧管理システム



載荷盛土（ICT建機）敷均し・転圧

■現場代理人のコメント



現場代理人  
川田将志氏

この度は、国土と交通等に関する知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。これも七尾港湾事務所担当監督員並びに職員の皆様、工事にご協力いただいた関係者の皆様のおかげであると深く感謝申し上げます。

本工事は、浚渫土砂埋立地内において、埋立てた軟弱な浚渫土上に載荷盛土を行う工事であり、今回はICT活用工事で施工を行うこととしました。結果、施工管理の効率化および品質の向上を図ることができました。

特に載荷盛土工は、施工箇所が軟弱であったため、大型重機の採用を見送り、バックホウは0.45m<sup>3</sup>級、ブルドーザは8t級として、支持地盤に大きな荷重が加わることで起こる局部破壊を予防しました。また、軟弱地盤の上に載荷盛土を行うため沈下板を管理測点20m×20mの交点箇所に設置し、日々観測を行い盛土厚・沈下量の管理を細かく行い施工しました。

土質改良工では、現場内に鉄板を30m×30mほど敷き並べた土質改良ヤードを築造し、土質の改良は敷き並べた鉄板上で行い、過掘りにより母材の土砂以外の土砂の混入を防止して所定の添加量を確保しました。また、母材となる土砂の計測を効率よく行うため、事前に行った配合試験結果から固化材1t当たりの土量が計測できる鋼製の計量枓を製作し、土質改良時の適正添加量の確保と母材土量計測の効率化を図り、土質改良の品質管理を行いました。

最後になりますが、事故やトラブルもなく安全に工事を完成させることができました。今後もこの賞の受賞を糧とし、更なる技術の向上に微力を尽くします。

# 令和4年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：ピーエス三菱・宮下建設 特定建設工事共同企業体

■工 事 名 広域営農団地農道整備事業 能登外浦4期  
地区 千代工区 橋梁工事

■施 工 場 所 石川県輪島市門前町 千代地内

### ■工 事 概 要

上部工：PC2径間連続箱桁橋 L=125.8m

下部工：P1橋脚工 H=37.5m

深礎杭工 φ=9500mm L=13.5m

■工 期 平成30年12月21日～令和3年9月21日

### ■推 薦 理 由

交通のある県道上を高架する張出し工法による長大橋梁工  
事

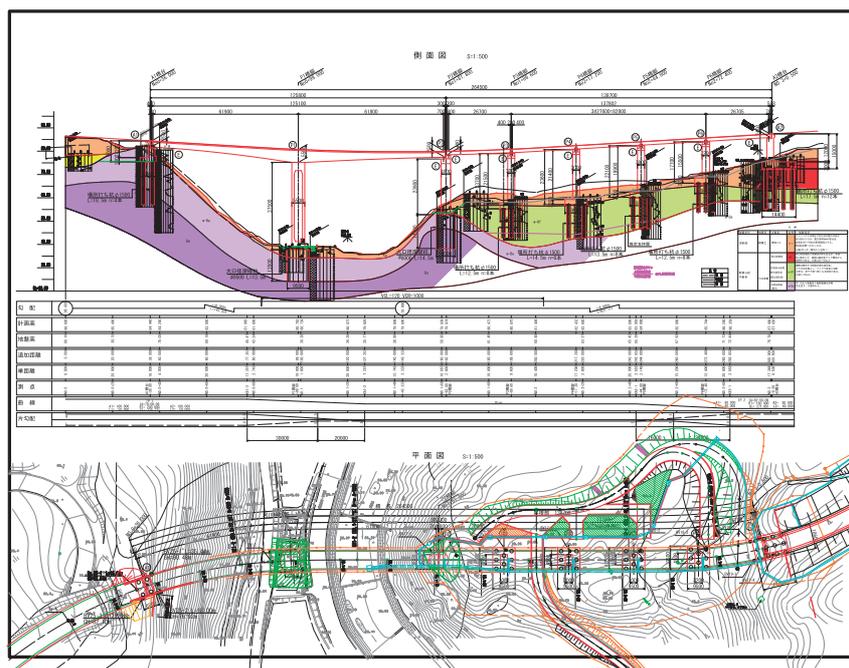
本工事は、広域農道の橋梁工事で、橋脚高さ43m、橋長125.8mの張り出し工法による長大橋梁であり、コンクリートの品質確保に加えて、交通のある県道や二級河川を高架するため、上部工施工時の安全対策が最も重要な工事であった。施工者からの提案により、コンクリートの3次元温度応力解析の実施や、その解析結果に基づく補強鉄筋の配置などの様々な取り組みにより、高い品質と美しい出来映えを確保するとともに、安全対策においても、風速観測に基づくクレーン作業中止基準の設定や、墜落制止器具の作業前点検の徹底などが実施され、2年9ヶ月に及ぶ長期間の工期において無事故で工事を完成させた。



A1橋台 上流側より望む



P2橋脚 上流側より望む



橋梁一般図



クレーンブームの風速計



クレーンブームのカメラ



回転式レーザーレベル（受光器）



回転式レーザーレベル（本体）



ドローンによる3次元測量（空撮画面）



ドローンによる3次元測量（本体）



張り出し架設工法（移動作業車の防護）

■技術管理者のコメント



技術管理者  
能島英明氏

このたびは、令和4年度石川県優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございました。これもひとえに石川県担当者のご指導と近隣住民、工事関係者皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

本工事は、橋上面までの高さが43mあり施工は常に高所作業となるため、墜落・転落災害のリスクが高く、また海岸線から1.8kmの谷間に立地しており、特に冬期においては暴風による倒壊・飛来落下物災害のリスクが高い工事でした。対策として、現場内の見通しの良い場所に警報器付風速計の設置に加え、クレーンのブームに風速計とカメラを設置し無災害で工事を進めることができました。また、架橋位置には県道と河川があり、張出し架設施工時には、移動作業車を防護して飛来落下を防止する措置を行いました。その結果、県道を通り止めにすることも、近隣住民にご迷惑をかけることもなく安全に工事を進めることができました。

品質面においては、下部工も37.5mと非常に高い橋脚のため、回転式レーザーレベルを使用することにより適切な鉛直度を確保するとともに、上部工ではドローンによる3次元測量を行い、通常の出来形管理方法とは別に構造物が適切に施工できているか再確認し、精度の良い美観に優れた構造物を構築することができました。

今後もこの賞に恥じないよう日々努力し、工事に携わっていきたく思います。

## 雇用改善コーナー

### 意見交換会の開催（県立羽咋工業高校）

開催日時 令和4年12月6日(火) 13:10～14:50  
 開催場所 県立羽咋工業高校  
 対象生徒 建設・デザイン科1年生16名  
 2年生28名

参加者 地区協会  
 (一社)羽咋郡市建設業協会  
 (一社)七尾鹿島建設業協会  
 県協会事務局3名

#### 概要

地元の建設会社の紹介を通して建設業に対する理解を深めてもらう目的で開催した。2年生との意見交換では、グループに分かれ各企業の紹介をした後、生徒の質問に答えた。1年生との意見交換では、建設業への興味をさらに持ってもらうことを目的に、現場で活用しているVRの操作体験や建設業の紹介DVDを視聴してもらった。参加した地区協会の会員が、生徒が感じている疑問や学校での過ごし方、建設業に関する資格等についてアドバイスした。



グループ討議



VR体験

### 意見交換会の開催（金沢市立工業高校）

開催日時 令和4年12月15日(木) 10:35～12:00  
 開催場所 金沢市立工業高校  
 参加者 土木科2年生37名  
 (一社)金沢建設業協会青年委員会、  
 県協会事務局1名

#### 概要

(一社)金沢建設業協会青年委員会が、将来の担い手確保の取り組みとして毎年開催しているもので、土木科の2年生37名が参加した。意見交換に先立ち、同校OBの谷口真由氏（(株)豊蔵組）が、「施工管理の仕事について」と題し講演した。

その後、グループに分かれ活発に意見交換を行った。当日は、意見交換会にあわせ、「測量コンテスト表彰式」、「就業体験報告会」も行われた。



講演（(株)豊蔵組 谷口真由氏）



意見交換

## 現場見学会の開催（金沢市立工業高校）

開催日時 令和4年12月13日(火) 9:30~12:00  
見学先 金沢市内 湖南学院職員宿舎等新営工事現場（施工者 宏州建設(株)）  
参加者 建築科1年生38名、県協会事務局1名

開催日時 令和4年12月14日(水) 9:00~12:00  
見学先 金沢市内 分譲マンション建設現場（施工者 真柄建設(株)）  
参加者 建築科2年生39名、県協会事務局2名

### 概要

1年生が訪れた湖南学院職員宿舎の建設現場では、木材利用の新たな可能性を開くCLT（直交集成板）建築について学んだ。また、2年生は、分譲マンション建設現場で、真柄建設(株)と金沢工業大学が共同開発したVRにより、工事現場での作業手順や施工状況等をリアルに体験することができ、生徒にとっては大変有意義な見学会となった。ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。



1年生：湖南学院職員宿舎等新営工事現場



2年生：分譲マンション建設現場（VR体験）

## 企業ガイダンスの開催（県立小松工業高校）

開催日時 12月20日(火) 9:00~12:00  
開催場所 県立小松工業高校  
出席者 建設科2年生32名  
(一社)小松能美建設業協会15社、(一社)加賀建設業協会3社  
県協会事務局1名

### 概要

(一社)小松能美建設業協会と(一社)加賀建設業協会が、地元の建設会社に対する理解を深めて貰うとともに、将来、建設業で活躍する人材の創出を目的として企業ガイダンスを開催した。ガイダンスは、生徒が各企業のブースを回る形で実施し、担当者からは生徒に対し、自社の歴史や仕事内容、地域貢献活動、会社の雰囲気、建設業の魅力等についてPRした。



## 地区協会コーナー

# 元JRA調教師が能登半島の最先端で取り組む 奥能登・馬プロジェクト

(一社)珠洲建設業協会

「ウオッカ」や「ヴィクトワールピサ」などのG1優勝馬を育て上げるなど、競馬界の第一線で活躍してきた、JRAの元調教師、角居勝彦氏が、能登半島の最先端にある珠洲市で、引退した競走馬（引退馬）の余生をサポートする取り組みを行っています。

現在、日本では年間約7～8,000頭の競走馬が生まれ、約5,000頭の競走馬が引退しています。引退競走馬のその後については、乗馬や式典用としての道もありますが、そのほとんどが殺処分となっており、寿命が30年あるといわれる引退競走馬が天寿を全うする場はほとんどありません。

そういった引退馬を、珠洲市の豊かな自然の中で、余生を過ごさせながら、馬糞堆肥の農業への利用や観光業、福祉・教育分野など、引退馬の魅力を引き出し、馬が新たなフィールドで活躍できる場を生み出すため、「奥能登・馬プロジェクト」を立ち上げ、馬と人が幸せに共生できる未来を目指して活動しています。

現在は、金沢競馬場で誘導馬をしていたドリームシグナル（牡17歳）、競走馬から乗馬への転用中に故障したレッドアルティスタ（牡10歳）、繁殖牝馬を引退したデッセシャテーヌ（牝9歳）の3頭の元競走馬を引き取っています。鉢ヶ崎海岸での体験メニューにも力を入れ、馬とのふれあい体験（ブラッシング、餌やり体験）や、海岸清掃、乗馬体験など、馬のセカンドキャリアの支援を行っています。

是非、豊かな自然の中で、のんびり元気に過ごしている引退馬とふれあいに来てください。



「日本の渚・100選」に選出された鉢ヶ崎海岸での乗馬体験



馬とのふれあい体験



馬の運動のため、波打際を散歩

### 体験メニュー料金【要予約】

- ・馬とのふれあい体験  
(ブラッシング・餌やり体験)  
所要時間1時間～／3,500円～
- ・鉢ヶ崎海岸でのふれあい散歩と海岸清掃  
所要時間1時間～／5,500円～



奥能登・馬プロジェクト

〈お問い合わせ先〉  
NPO法人 能登すずなり  
TEL 0768-82-4688

# 今月の「輝き！」さん

No. 94



## 真柄建設株式会社 北野将之さん

所 属：建築工事部工事課  
 経験年数：3年9ヶ月  
 年 齢：26歳

真柄建設株式会社の能美営業所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。

当社は1943年6月に設立され、建設事業、リニューアル事業、総合エネルギー事業等を手掛ける総合建設会社で、金沢市彦三町に本社を置き、北陸、東京、大阪の3つの事業部と全国に3か所、県内に3か所の営業所があります。私は北陸建築事業部の建築工事部工事課に所属しています。

ー建設業を選んだ理由、入社のも動機等について教えてください。

父が電気工事関係の会社で働いていたこともあって、子供の頃から何となく建設業に親しみを抱いていました。特に大きなビルの建築に興味があり、自分も将来大きな建物の建設に関わりたと思っていました。そんな思いもあって工業系の大学で建築を学びました。大学卒業後は県内企業で働く決めておりいろいろ悩みましたが、両親の勧めもあって、規模の大きな建物を手掛ける真柄建設で自分が学んできたことを活かせたらと思いました。

ー入社後4年になりますが感想は？

現在、能美市内の民間工場の新築現場で、安全管理や協力企業の方々との連絡調整、工事の進捗・進捗確認、工事写真の撮影などを担当しています。大変なこともあります。完成後には目に見える形で結果（構造物）が残るので達成感とやりがいを感じます。まだまだ知識不足で試行錯誤の毎日ですが、これから経験を積んで上司や先輩方から少しでも多くのことを吸収し、もっと会社に貢献できるようになりたいと思っています。

ー思い出に残る現場、苦勞した現場は？

昨年、金沢市泉野福祉健康センター改築工事に携わりました。他社とJVを組んだ現場でしたが、自分にとっては初めての公共施設であるとともに、金沢市南部地域の福祉と健康の拠点となる規模の大きな建物だったので、初めて経験することも多くとても勉強になりました。

ー休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

小学校から高校までバスケットボールをしていました。大学に入ってから地元の社会人チームに所属し時々練習に参加しています。今は、1歳になったばかりの子供に手がかかるので、休日は、妻の負担が少しでも軽くなるよう育児や買い物など家族サービスに努めています。

ー将来の夢、目標は？

1級建築施工管理技士の資格取得が当面の目標です。第一次検定はすでに合格しているので、残る第二次検定の合格を目指しています。上司や先輩のように現場全体を上手くまとめ上げることができる「信頼される現場監督」になりたいと思います。



## けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

開催日時 令和4年12月20日(火) 13:30~14:30  
 開催場所 ホテル日航金沢  
 出席者 正副会長、常任理事、理事、幹事、事務局 計60名

#### 概要

事務局から、今後の主な日程、令和4年度事業執行状況、会員受注高、建設業をめぐる最近の話題等について報告が行われた後、令和4年秋の叙勲で旭日双光章を受章した岡 昌弘常任理事、並びに令和4年秋の褒章で黄綬褒章を受章した水内健之理事の両氏に役員一同から金杯が贈呈された。続いて、新規入会希望者の審議が行われ、(株)堀建設及び(株)ココ地建の入会が承認された。

引き続き開催された石川県総合建設業協同組合理事会では、新規入会希望者の審議が行われ、小中出建設(株)の入会が承認された。続いて事務局から令和4年度中間事業報告が行われた。



岡 昌弘氏



水内健之氏

金杯贈呈



## 委員会の開催

### 土木委員会

#### ◎施工対策部会 工事現地検討会班長会議（後期）の開催

開催日時 令和4年12月16日(金) 17:00~18:30  
 開催場所 かなざわ石亭  
 出席者 施工対策部会  
 正副部会長2名、班長8名、事務局1名  
 アドバイザー  
 正副委員長3名

#### 概要

会議では、11月10日(木)~15日(火)に行われた工事現地検討会の実施結果について各班長から報告された。この後、工事現地検討会の参加者(発注者、受注者、設計コンサルタント、土木委員会委員、地区協会会員)から出された設計施工・積算に関する課題・問題点や、仮設計画の考え方、安全管理などについて意見交換が行われ、改善を必要とする案件については発注機関へ要望していくこととした。また、次年度の工事現地検討会の実施方法等について意見交換が行われた。



## 建築委員会

### ◎全体会議の開催

開催日時 令和4年12月2日(金) 17:20~18:00

開催場所 小松市 まつ家

出席者 委員長以下23名、事務局1名

#### 概要

真柄卓司委員長の挨拶に続き、梅谷基樹総務・企画部会長が、県土木部及び北陸地方整備局営繕部への要望事項と回答について説明した。その後、各部会の活動と今後の予定等について事務局から説明した。

### ◎加賀地区、能登地区合同安全パトロールの実施

実施日時 令和4年12月2日(金) 15:30~17:00

実施場所 木場潟公園東園地整備工事  
(里山交流ハウス・農業体験ハウス・体験施設各建設工事現場)

出席者 発注者(県)2名、施工業者4名  
技術安全部会長以下24名、事務局1名

#### 概要

坂東久雄部会長の挨拶に続き、中山 愛石川県土木部営繕課課長補佐及び田村 泉専門員から工事の概要説明を受けた後、各工事現場を視察した。その後、各施工業者(丸西・道場JV、(株)吉光組、加越建設(株))の担当者を変えて意見交換を行った。



## 建設青年委員会

### ◎全国建設青年会議第27回全国大会への参加

12月2日(金)午後1時30分より全国建設青年会議第27回全国大会が中国地方建設青年交流会の主催により東京明治記念館にて開催された。来賓には岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、齊藤鉄夫国土交通大臣、佐藤信秋参議院議員、足立敏之参議院議員、森 昌文内閣総理大臣補佐官、国土交通省からは吉岡幹夫国土交通省技監並びに各地方整備局調整官等16名、全国建設青年委員498名の出席があった。北陸ブロックからは27名、石川県からは明断委員長をはじめ10名が参加した。



- ・特別講演 演題 「『建設産業の未来予想図』の実現に向けた国土交通省の取組」  
講師 国土交通省 技監 吉岡幹夫 氏
- ・基調講演 演題 「人口1万9千人の豪雪市で小さな建設会社を輝かす取り組み」  
講師 株式会社フクザワコーポレーション代表取締役社長 福澤直樹 氏
- ・基調講演 演題 「明日の地域を創るための人財育成」  
講師 株式会社小野組代表取締役社長 小野貴史 氏
- ・基調講演 演題 「ワークマン式「しない経営」善意と共感による新たな生態系モデル」  
講師 株式会社ワークマン専務取締役 東北大学客員教授 土屋哲雄 氏

## 石川県土木施工管理技士会だより

### JCMセミナー（DVD講習会）の開催

開催日時 令和4年12月19日(月) 10:00~16:55  
 開催場所 石川県建設総合センター  
 参加者 5名

#### 概要

DVDによる講義の形式で行われ、仮設構造物（土留め工）の設計セミナー、維持管理基礎講座（河川編）を受講した。受講者には、CPDSが6ユニット付与された。



### 第3回役員会の開催

開催日時 令和4年12月22日(木) 17:30~20:00  
 開催場所 金沢茶屋  
 出席者 鶴山庄市会長、山下勇人副会長、向出剛一副会長、  
 岡田康晴副会長  
 理事・監事16名、事務局2名

#### 概要

下記の議事内容について審議を行った。

#### 〈審議事項〉

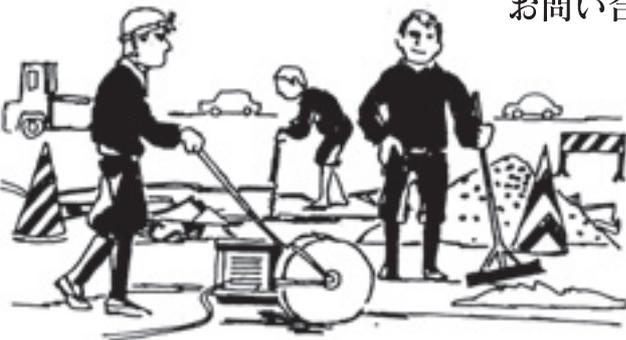
1. 全国土木施工管理技士会連合会表彰推薦について  
 表彰規程に基づき、表彰該当者の中から石川県土木施工管理技士会の推薦者の決定を行った。
2. 「北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会」の提案議題について  
 令和5年3月7日(火)開催の北陸地方整備局と北陸三県技士会（石川・富山・新潟）との意見交換会の提案議題を役員より募集し、意見集約後に正副委員長会議で審議することとした。
3. 事業報告及び今後の事業計画について  
 令和4年度事業状況（中間報告）及び今後の事業予定について内容を確認した。決算報告（中間報告）では、収入及び支出内容が適正であることを確認した。



## 不慮の災害事故発生にそなえて

### 全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



#### 石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社  
 損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20  
 中屋三井ビル2F

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

## 令和4年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

### 「心の変化」

株式会社金沢舗道 池田龍星

私は、普通科高校出身で二〇二〇年四月に今の会社に入社しましたが、建設業の仕事内容は全くと言っていいほど分からず、右も左も分からないまま建設業の世界に飛び込みました。同期の中には、工業高校出身の方もいたため、入社当初は知識量で差が出てしまうのではないかと不安を抱えていました。

入社後は、約半年間で舗装工事現場・アスファルト合材や生コンクリートを製造する弊社工場にて研修を行いました。舗装工事現場では道路や駐車場がどうやって作られているのか体感しました。当時、外で仕事を行うことがとても気持ちよくて毎日違う場所で工事を行うことも多かったため、楽しかったことを覚えています。工事現場に出て最初に目に入ったものはダンプトラックで運ばれてきたアスファルト合材の色でした。その工事現場は公園内の舗装を行っていてオレンジ色の合材を使用していました。アスファルトは黒い物しかないと思っていたので様々な種類があることに驚きました。夏場であったため、とても暑くて慣れない作業を辛く感じながら仕事をしていたことを懐かしく感じます。

生コンクリート工場では、実際に現場でミキサー車の操作等も見学できました。大きな建物を支えるコンクリートは土台となる一番大切な役割をしていて、強度の重要性を感じました。研修を通じて、私は建物や道路を作る上で品質を高めることの大切さを学ぶことができました。

約半年間の研修が終わり、私は舗装工事を行う部署に配属となりました。研修期間中には体験することのなかった切削オーバーレイや夜間作業なども経験しました。私がそのような中で最も印象に残っている工事は、入社一年目の冬に経験した国道八号線の舗装復旧工事です。初めての経験となる大きな舗装工事現場でとても緊張した日々を過ごしておりましたが、同時に様々な方が利用している道路を作っているという実感を得ることができました。

二年目からはダンプ等を運転する機会も増えてきましたが、うまく運転できずに自身の技術力の

無さに悔しい思いをしたことを覚えています。その後、運転回数等を重ねるうちに工事現場内での作業をスムーズに行うことができるようになってきました。しかし、その慣れから自身の運転を過信してしまい現場道具にダンプをぶつけるという軽微な接触事故を起こしてしまいました。その時に改めて運転に慣れることと上手くなることは全く違うことなのだと反省しました。その後もミスばかりの日が続くこともあり正直仕事を辞めたいと思うこともありました。しかし、そこで立ち直ることができたのは、明るく励ましてくださった先輩社員がいたからだと思います。今後、自身の後輩が同じような状況になった時には明るく声をかけてあげることができるような先輩になりたいと思いました。入社してから足元しか見えていなかった視野が徐々に広がり自身の成長も感じるようになりました。地道な経験の積み重ねとたくさんの失敗を重ねることが成長に繋がったと思います。

建設業では、危険作業が伴うこともあるため普段から十分に気を付けて作業を行う必要がありますが、一方、工事が完了した際の達成感ややりがいとは他では味わえないものだと思います。我々が工事を行った道路がこの先何十年も利用されていくという自覚を持ちながら品質を高め、今後も仕事を行っていきたいと思います。

私は、今までの日々の中で道路や建築物などがどうやって造られているのか気にしたことがありませんでした。しかし、実際に建設業に従事してから新しい知識が増えることで、道路や建築物を利用した際に工事にかかわった方に感謝をするようになりました。

今後は、建物と同じように何を行うにしてもまずは土台を作ってから行動したいと思うようになりました。大変なこともあります、自身が施工した道路等を利用する方からお礼を言われることもあり、建設業に入ってよかったと感じます。自身のように普通科高校からの入職者も増えていくといいなと思います。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

## 令和4年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

### 「建設産業を通じて感じた自身の成長」

兼六建設株式会社 山本夏基

私は、兼六建設株式会社で働いている入社4年目の山本です。

私は、現場で施工管理職として建設産業に関わっています。もともと小学生の頃から現場で働きたいと思っていました。しかしその頃は施工管理職としてではなく大工さんにあこがれていました。大工さんは「かっこいい」ということだけで大工さんになりたいと思っていました。そのあこがれが続き私は、大工になるために高校には行かないと親に相談しました。しかし、親には反対され今どきの大工は大学も卒業していると言われました。そのことを信じて大学に入学しましたが、異変に気付いたときにはもう遅くなっていました。やはり職人さんは大学に行っていない人が多く、手に職をつけるということで若いころからの経験が重要でした。そこで私は、大工さんという職人さんになることをそこで諦めました。ですが私は小さいころからモノづくりが好きだったことと建設業界で働きたかったので施工管理職になろうと思い兼六建設に入社しました。現在施工管理職として3年間働いて、親に騙されてよかったなと思っています。一つの建物を建てる際にたくさんの職人さんたちと話すのですが現場の最初から最後まで携われるのは施工管理職だけで、職人さんをまとめ、みんなで一つのものをつくることにとてもやりがいを感じています。自分が携わった建物が地図に残るので、将来子供にも自慢できることが建設業の魅力だと感じます。また、まったく同じことがなく施工条件によって同じような建物でも施工の仕方が変わったりするため大変ですがそれを乗り越えて建物が完成した時に達成感があり、やりがいを感じられます。施工管理職は自分の思っていた通りの仕事内容で自分に合っている仕事だなと実感しました。やはり働く前は、建設業界は「きつい、きたない、危険」という3Kのイメージがありました。しかし実際はそうではなく土日祝日は完全休みで休日には自分の時間を楽しむことができます。また、毎週金曜日に

は一斉清掃を実施し現場内をきれいに保っています。職人さんたちが率先してトイレ掃除を行ってくれたりしています。特に現場内でトイレと喫煙所がきれいになっています。今配属先の現場では自分の後輩で女性の職員もいます。やはり、建設業界は男性が多いイメージですが、職人さんも女性の方が多くなってきたと思います。建設業界のイメージが大きく変わってきているのではないかと思います。後輩ができ自分の一年生の時を思い出してみると建設業で働き自身の成長を感じます。現場で仕事を進めていく中で、計画通りに現場が進むことはあまりなく現場で様々な調整をしなければなりません。そこで必要なのがたくさんの職人さんをまとめるリーダーシップ力、コミュニケーション能力、臨機応変に対応する能力と様々で、私はこの3つがとても成長したなと実感しています。もともと人前に立って話すことはあまり得意ではなかったのですが、朝礼で職人さんたちの前で話したり、みんなをまとめることで、リーダーシップ力がついたと感じました。たくさんの職人さんと打ち合わせをしていくことで、人前で話すことに抵抗がありましたが気付けば人前で話すことに抵抗がなくなりました。また、現場で打合せ通りにいかないことに対してその状況で最善の策を考えて実行する対応力も身についたと感じました。建設業で仕事をしていると日々成長していると実感します。また、日に日に3Kが改善されていることも実感します。まだまだ勉強することはたくさんあり、もっと施工条件が厳しい現場も出てくると思います。そのときはリーダーシップ力、コミュニケーション能力、臨機応変に対応する対応力を活かしてたくさんの職人さんと協力し、石川県を代表する建築物を手掛けていきたいと思っています。

これからも初心を忘れず毎日勉強し、建設業の魅力と誇りを伝えられるように頑張っていきたいと思っています。

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和4年分）

令和4年11月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	① 8	① (19) 46	3	② (19) 57	(14) 70	⑥ 1,105
小松監督署	10	(5) 9	4	(5) 23	① (6) 19	414
七尾監督署	4	(6) 8	5	(6) 17	① (6) 17	177
穴水監督署	5	(5) 10	3	(5) 18	① (3) 17	② 156
計	① 27	① (35) 73	15	② (35) 115	③ (29) 123	⑧ 1,852
前年同期	① 38	① (29) 68	① 17	③ (29) 123		⑥ 1,166

( )内は木建工事 ○内は死亡者数  
 対前年同期比の増減 建設業：123件→115件【8件（6.5%）減少】 全産業：1,166件→1,852件【686件（58.8%）増加】  
 コロナウイルス感染症による死傷災害（11月末現在前年同期比）：建設業：4件→15件、全産業：152件→839件

## 令和4年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%
9月分	430	155	277.4%	2,969	1,871	158.7%	3,399	2,026	167.8%
10月分	190	362	52.5%	3,852	1,451	265.5%	4,042	1,813	222.9%
11月分	132	200	66.0%	1,182	1,387	85.2%	1,314	1,587	82.8%
年度累計	1,817	1,656	109.7%	20,963	17,552	119.4%	22,780	19,208	118.6%
2年度累計		1,392	130.5%		12,017	174.4%		13,409	169.9%
元年度累計		2,207	82.3%		18,559	113.0%		20,766	109.7%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%
9月分	6,207	5,043	123.1%	264	2,936	9.0%	6,471	7,979	81.1%
10月分	3,559	2,432	146.3%	620	1,244	49.8%	4,179	3,676	113.7%
11月分	6,351	4,153	152.9%	511	150	340.7%	6,862	4,303	159.5%
年度累計	36,205	32,571	111.2%	5,671	11,078	51.2%	41,876	43,649	95.9%
2年度累計		31,838	113.7%		21,042	27.0%		52,880	79.2%
元年度累計		33,486	108.1%		10,945	51.8%		44,431	94.2%

合 計（民間+官公庁）

	令和4年度	令和3年度	%
9月分	9,870	10,005	98.7%
10月分	8,221	5,489	149.8%
11月分	8,176	5,890	138.8%

	令和4年度	令和3年度	%
年度累計	64,656	62,857	102.9%
2年度累計		66,289	97.5%
元年度累計		65,197	99.2%

## 会員の異動

今回届け出があったのは次の4件でした。

### ○新規入会

商号	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	入会日
(株)堀建設	堀 将人	921-8824	野々市市新庄6丁目806	076-246-1610	076-246-1612	令和4年12月20日
(株)ココ地建	徳用 裕司	924-0867	白山市茶屋2丁目114番地1	076-275-8200	076-275-8209	令和4年12月20日

### ○変更

会社名	変更前代表者	変更後代表者	変更年月日
(株)高田組	中山 泰夫	霞流 吉広	令和4年7月1日
吉田道路(株)	吉田壽賀子	高橋 斉	令和4年12月1日

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。

## 新社長紹介



### 株式会社駒津組

所在地 金沢市三〇新町1丁目19-1

氏名 小松正俊

就任年月日 令和4年11月1日

#### 社長としての抱負

この度、代表取締役役に就任いたしました小松正俊と申します。

私たちの使命は、より良い社会資本の形成の為、今できる最大限の知識と技術を用い多くの皆様により良い環境を提供すると共に、安全で安心な生活を守るものでなければならぬと考えております。

今後とも全社員一致団結して社業発展のため専心努力致す所存でございますので尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 県協会からのお知らせ

### 令和5年1月行事予定

- 1月 4日(水) 経済3団体新年互礼会  
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 10日(火) 建築設計等7団体合同新年互礼会  
(ホテル日航金沢)
- 11日(水) 直轄事業(能登地区)に関する要望会  
(金沢河川国道事務所)
- 16日(月) けんせつフェア北陸in金沢2023実行委員会  
(北陸地方整備局)
- 除雪業務における時間外労働の取扱いに関する講演会
- 土地改良委員会 新年会 (金沢市内)

- 17日(火) 土地改良委員会 技術検討部会  
北陸ブロックCCUS連絡会議 (WEB会議)
- 19日(木) 広報・研修委員会 全体会議(ホテル日航金沢)  
組合・協会合同新年会 (ホテル日航金沢)
- 20日(金) 建設産業女性定着支援ネットワークブロック意見交換会
- 23日(月) 全国建産連理事会・協議員会  
(東京 ルポール麹町)
- 事務担当者説明会 (金沢)
- 24日(火) 事務担当者説明会 (珠洲、鳳輪)
- 25日(水) 事務担当者説明会 (七尾鹿島、羽咋郡市)
- 27日(金) 土木委員会 新年会 (和倉温泉のと楽)
- 31日(火) 事務担当者説明会 (河北郡市、白山野々市)

令和5年2月以降の行事予定

- 2月 1日(水) 事務担当者説明会 (小松能美、加賀)
- 6日(月) 正副会長会議  
常任理事会
- 10日(金) 全建 総務委員会 (東京 東京建設会館)
- 11日(土) 富士訓練センター派遣事業 (～18日)  
(静岡 富士教育訓練センター)
- 13日(月) 公共建築連絡協議会
- 15日(水) 全建 理事会 (東京 東京建設会館)
- 16日(木) 石川県産業教育振興会理事会・総会  
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 17日(金) 土地改良委員会 技術検討部会 県との意見交換  
(金沢ニューグランドホテル)
- 22日(水) 建設業協会・建産連セミナー  
(県地場産業振興センター)
- 24日(金) 北陸地方整備局との意見交換会 (ホテル日航金沢)
- 3月 2日(木) 正副会長会議
- 3日(金) 全建 総合企画委員会 (東京)
- 7日(火) 北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会  
(新潟 アートホテル新潟駅前)

- 9日(木) 土木委員会 現場視察・研修会(～11日) (九州)
- 13日(月) 税財務講習会
- 14日(火) 全建理事会・協議員会 (東京 経団連会館)
- 17日(金) 産業廃棄物講習会
- 23日(木) 全建専務理事・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)

「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)
- ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)
- ③協会報の発行 毎月1日発行  
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 1月10日(火) 青年委員会：デザインアワード表彰式
- 12日(木) 「金沢をつくる」プロジェクト会議
- 13日(金) 新年挨拶回り
- 23日(月) 事務担当者説明会  
総務委員会
- 24日(火) 協会・組合 合同新年会
- 25日(水) 奉仕委員会
- 27日(金) 監理技術者講習会  
青年委員会：未来の担い手確保・育成S
- 30日(月) 土木部会：運営委員会
- 31日(火) 青年委員会：建設業働き方ワークショップ

《お知らせ》

- 2月 6日(月) 常任理事会
- 22日(水) 現場責任者研修会
- 28日(火) 経営者・後継者等研修会  
青年委員会：全体会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 1月10日(火) 新年挨拶回り
- 11日(水) 新年互礼会

《お知らせ》

- 2月 1日(水) 事務担当者説明会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 1月10日(火) 執行部挨拶回り
- 17日(火) キャリア教育 (安宅中)  
新年会
- 31日(火) キャリア教育 (寺井中)

《お知らせ》

- 2月 1日(水) 事務担当者説明会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 1月23日(月) 理事会  
新年互礼会
- 31日(火) 事務担当者説明会

河北都市土建協同組合

《行事予定》

- 1月31日(火) 事務担当者説明会

《お知らせ》

- 2月15日(水) 地元選出県議会議員との意見交換会並びに  
組合新年会

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

- 1月25日(水) 事務担当者説明会
- 27日(金) 協会・資材組合 合同新年会

《お知らせ》

- 2月 3日(金) 定期健康診断 (羽咋シルバー人材センター)
- 下旬 役員会
- 3月下旬 役員会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 1月 5日(木) 官公庁挨拶回り
- 13日(金) 新年会
- 中旬 土木委員会役員会 (災害協定)
- 下旬 土木委員会役員会 (万葉マラソン)
- 25日(水) 事務担当者説明会

《お知らせ》

- 4月 5日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 1月13日(金) 新年会
- 24日(火) 事務担当者説明会

《お知らせ》

- 2月 8日(水) 理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 1月24日(火) 事務担当者説明会
- 27日(金) 協会・組合 合同新年会

知ってほしい、より安心の制度。

掛金負担  
が軽減  
契約者割戻金制度  
がスタート  
(令和4年4月より)

手厚い補償  
保険金区分合計  
最高5,000万円

労働者と  
企業の  
リスクをカバー

今すぐ、ご加入を!

制度が変わって、安心充実。

法定外労災補償制度

# 建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

## 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

## 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

## 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会  
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23  
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前9:00～午後5:00(土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>